

New Way 経営考

企画・解説

アクシスコンサルティング 山尾幸弘社長（聞き手）編集局次長・松下次男

人材交流通じビジネスのかけ橋に

「ヒト、モノ、カネ」が経済活動の基盤といわれる。こうした中、人材コンサルティング業務を展開するアクシスコンサルティング（東京都千代田区）は経済活動のグローバル化進展に合わせて、人材サービス事業で国際展開に乗り出す。とくに自動車産業が著しい中国との人材交流に力を入れている。その狙いを山尾幸弘社長に聞いた。

IT分野で活動
「経済活動がグローバル化 アジアで人材交流するようになる中で、海外からの求人も活動があつて良いと思う。人財サービス事業の海外展開を計画しており、とくに中国との交流に関心がある」といふ山尾が

中国の自動車産業は急成長



◆アクシスコンサルティング◇
人材紹介、人事コンサルティング業務などが主な事業。IT・ソフトウェア関連の職種をはじめ、海外企業とのアライアンスを通じ自動車関連産業にも注力する。2002年設立とまだ若い企業であり、プロフェッショナル・サービス・ファームとして21世紀の人材ビジネスの中心の軸（AXIS）になることを目指す。

生産性に貢献できるキャリア組が不足

は今、非常にホットであると感じた。

とくに自動車産業を対象にした人材開発セミナーを検討しています。

「中国の自動車産業は急成長しており、今や中国国内は世界最大の市場になった。さらに、これからは国内だけでなく、グローバル化も進む。そこで先を急ぎ、ホルボ・カーズなどの海外メーカーを買収する動きも目立つ。こうした中で、グローバル基準を取り入れ、生産性を向上することが求められている。そのため人材、とくにキャリア組が不足している」

マネジメントカ

「求めている人材は、幅が広い。開発・生産から品質分野、エンジニアだけでなく、マネジメントで活躍する人材も欲しいという。それも、ごく一部のパートがわかるだけで良いとか、先進技術でなく量産技術を伝授できれば十分だ。すでにリタイアした人で良いというわけだ。言葉も通訳をつけるから、わからなくもない」といふ。

「これまでも、こうした海外に人材を派遣したケースは「かつて韓国でも電機メーカーからの要請に対応して、

リタイアした技術者などの能力生かす

リタイアした技術者を紹介した。考え方が違う。例えば、リタイアした人で、まだまだ元気な方。さらに企業からリストラされ、思うように再就職できない人など。能力が生かされていないケースがいっぱいある。一方で、海外に目を転じれば人材が不足している国・地域も少なくない。とくに経済が発展期に差し掛かっている国・地域。こうしたところでは、とりわけ専門の知識を持っている人の不足が目立っている」

もっと開放的に

人材流出は、日本からの技術流出につながるという懸念もありますが

「これだけ経済がグローバル化する中で、閉鎖的な考えは突破しないといけないと思う。もっと開放的になるべきだ。日本の産業界は従来のグローバル戦略では比較的、恵まれてきたところがある。少し前まで、リーマンショックの影響もあったが、日本企業は不況でリストラをせざるを得なかったところが少なかつた。今も日本の失業率は高い。しかもこれからは少子高齢化で、消費も伸びない。国内だけ見れば限界がある。経済と同様に、人材もグローバル基準で考え直すべきだ」

「遊んでいる人は、日系メーカーなどこれからグローバル化に対応した人材が求められていますか」

「企業がグローバル化するためには、ある意味でグローバルの人材を受け入れることが求められると思う」